

# 山形保険医新聞

Yamagata medical practitioners newspaper

発行  
山形県保険医協会  
〒990-0043 山形市本町二丁目1の2フコク生命ビル  
電話 023 (642) 2838  
FAX 023 (642) 2839

購読料 年共1ヵ月 500円  
印刷 コロニー印刷

第511号

## 6月号 TOPICS

- 2面…不妊治療の保険適用
- 3面…指導・監査実施方針
- 4面…新型コロナ陽性者・濃厚接触者の対応
- 5面…日本の城郭こぼれ話
- 6面…気になるワインの話

### マイナンバーカード保険証利用 本格運用から半年経過も 対応可能医療機関は2割弱

4月の診療報酬改定で、マイナンバーカードの保険証利用を促す電子的保健医療情報活用加算が新設された。オンライン資格確認には、顔認証付きカードリーダーが必要となる。全国では、5月8日時点で、医科診療所ではカードリーダーの申込率45・6%、運用している機関は12・8%となっている。歯科診療所は、カードリーダー申込率49・8%、運用機関は12・7%。県内では、医科診療所の申込率48・7%、運用機関は18・4%。歯科診療所は、申込率57・9%、運用機関は18・4%と全国をやや上回っているものの、医科、歯科とも2割弱にとどまっている(表1)。

5月現在のマイナンバーカードの交付率は全国で44%、県内では40%で、こちらは全国よりやや下回っている(表2)。保険証利用のための登録が済んでいる人の割合は、854万6000人ほどで、人口比6・7%しかない(5月8日現在)。政府は、電子的保健医療

#### 山田 修久先生 (山形市・外科、内科、脳外科)

昨年10月20日から、マイナンバーカードの保険証利用の本格運用がはじまった。現状では、山形県内の運用は病院37件、診療所133件だとのこと。両者の合計施設数は約800だそうだから、約2割ということになる。半年以上経って、何と普及率が低いことだろう。患者さんの方からすれば、マイナンバーカード自体縁遠く、まして高齢者の多い山形県では関心自体薄いのだろう。情報さえ知らない人が多いのではないのか。その上、これまでの保険証もそのまま使えるのだから、面倒なことはいらないのは当然だろう。その上マイナンバー保険証を使うと、窓口負担が増えるのだから使いたくなくなるのは当然である。

医療機関にしてみれば、カードリーダー購入だけに助成をつけられても、それだけでは済まない。レセコンや電力に保険証情報を読み込ませたり、情報を入力させたりするには多額の費用を要し、その上セキュリティについてもかなりの費用をかける必要はないのか、二の足を踏むのは当然と言える。

それにしても、厚労省はマイナンバーを普及させた人たちの使い方をしなれないのかもしれないが、閣議での一声で、今回の改定でマイナンバーカードを保険証として使うと個人負担が増える方針が出たのは何故なのか、興味深い。

#### 堀米 亨先生 (山形市・泌尿器科)

私がマイナンバーカードリーダーを購入したのは、電子カルテの管理をお願いしている会社からカードリーダー購入時の補助金が出るという助言を受けたためです。特に考えもなしに、「いずれ義務化されるのであれば、今購入しておいた方が得だろう」とぐらいたの考えしかありませんでした。その後マイナンバーカードに付帯された情報を管理するため別途料金が発生することや管理のためのランニングコストがかかることも判明しましたが、今のところは特にコストがかからないことに安心しています。また4月の診療報酬改定でマイナンバーカードの情報管理ができないと点数加算が受けられないことが少し残念でしたが、仕方がありません。今後マイナンバーカードの情報を管理する医療機関が増えてランニングコストが下がれば、情報管理のためのシステムも検討したいと考えています。

#### 佐藤 誠先生 (酒田市・歯科)

うちの医院はマイナンバーカードを健康保険証として読み取ることができないカードリーダーを設置しないことにしました。まず一番の目的である患者さんが持参した保険証が有効なのかそうではないのかは医院でやるのではなく、その保険証を発行したところでやるべきだと思います。全国民が個人番号を持つことはデジタル社会では必須です。良い悪いではなくそれがスタートであり、それがなかったら効率的なデジタル社会にはならないです。現在マイナンバーカードをもっている人の割合はどのぐらいなのでしょう。全員が自分の番号として一般的に使うようになれば、マイナンバーカードの期待度も上がり、できることも増えるでしょう。このカードがオールマイティであり、かつしてババのカードを引いたということにならないようにと心配しています。

表1 オンライン資格確認の導入及び顔認証付きカードリーダー申込状況一覧

(令和4年5月8日時点 厚生労働省HP資料より抜粋)

	機関数	カードリーダー申込機関数	申込率	準備完了機関数	接続率	運用機関数	参加率
全国(医科)	89,672	40,866	45.6%	15,395	17.2%	11,487	12.8%
山形(医科)	723	352	48.7%	182	25.2%	133	18.4%
全国(歯科)	70,732	35,190	49.8%	11,873	16.8%	8,993	12.7%
山形(歯科)	501	290	57.9%	116	23.2%	92	18.4%

表2 マイナンバーカード交付状況について

(令和4年5月1日時点 総務省HP資料より協作成)

区分	人口(R3.1.1時点)	交付枚数	人口に対する交付枚数率
全国	126,654,244	55,765,137	44.0%
山形県	1,070,017	427,785	40.0%

#### 國井 亮太郎先生 (寒河江市・歯科)

当医院でオンライン顔認証システムのマイナンバーカードリーダーが稼働したのは2021年9月末で、約8カ月経過した。導入後の雑感を書きたいと思う。デメリットとして①受付にPCが1台増え受付準備の手間が増えた。②そもそもマイナンバーカードを持参する人がほとんどいない。最後に当医院でスムーズに導入できたのは、レセコンメーカーとその担当者の功績が非常に大きく、本当に感謝しております。(情報の自動入力等はレセコンメーカーによって異なる可能性があります。ご了承下さい)

皆無に近く、デメリットについてはほぼ感じない。ただ、メリットはかなり大きいと感じている。実際、導入前にあつた保険証違い・入力ミスによるレセプトの返戻が皆無となった(ただし、この使い方だと「マイナンバーカードリーダーによるオンライン顔認証システム」ではなく、「保険証によるオンライン認証システム」である)。この方向を選択すれば良かったのだ。もっと年寄りのバインデンの方が、もう少し頭が柔らかいようだ。世界の指導者はほとんど若返りの世代交代を進めている。専制国家は皆、ヒトラー化するのではないかと案じられている。専制元首は核を持って拒否権もなにかしらないと。



ロシアの戦勝記念日が施行された。プーチンの演説が注目されたが、具体的なウクライナ

戦争に関する内容はなかったに等しい。そもそもこの記念日自体、ソ連の対ドイツ戦争での勝利を祝っているわけで、ソ連はもう存在せず、ロシアというもつと古い国が復活したただだから、ロシアが対ナチ戦どころのこのというのがおかしい。プーチンがいかにソ連にこだわっているのかわかる。そのこだわりがロシアの新帝国主義のナチズムを生み出しているのだ。周りの諸国が仲良くしているのをうらやましく見ていたプーチンが、みんなが自分を責めてくると思うと同時に、自分の子分たちがみんな自分から離れて敵対してくる。そのリーダーがウクライナだとして叩き潰しかかった。ところが自分は頭だけでなく軍事的にも時代遅れになっており、世界は意識も軍備も格段に進化していったわけだ。あんなに広い国土と資源があるのに、古い南下政策やソ連への懐古趣味を投げ捨てて意識の近代化、国際協調の方向を選択すれば良かったのだ。もっと年寄りのバインデンの方が、もう少し頭が柔らかいようだ。世界の指導者はほとんど若返りの世代交代を進めている。専制国家は皆、ヒトラー化するのではないかと案じられている。専制元首は核を持って拒否権もなにかしらないと。